



「こんにちは 市長です」

7月1日号

福岡市で暴走死亡事故が起こった。6月に入って新聞・テレビは加害者となった81歳の老人を大きく扱った。「免許証返納も考えないと」などと知人に言っていたというから、体の調子も悪かったのかもしれない。65歳以上で免許取得をしている人は1800万人、そのうち80歳以上が220万人、激減する。年齢を重ねるにつれ「そろそろ返納の時期かな」と自分で判断しだすのだと思う。体には個人差があるから一概には言えないが、どこかに「予兆」が感じられるはずだ。その時が決断の時ではないか。

バス会社が不採算を理由に路線バスを切っていた。企業だから仕方がないのかもしれない。自治体は戸惑った。市民の足を確保するのは公共性が高い、放っておくわけにはいかない。さあ、バスを用意して、運転手さんはどうする？と、押っ取り刀で取り組んだ。プロがやめたのだから不採算は覚悟の上だ。市がやるのにバス会社の路線を復活させるだけでは芸がない。頭をひねって路線を決めるベースとして尾島線、新田線そして循環線の3路線を固定した。次に「おうかがい市バス」である。駅（バス停）が765カ所あるけど「本当の交通弱者が望むのは玄関先まで来てもらえること」とふれあい相談員が言っていた。お医者さんや買い物に出掛ける。家族がいなくて連れて行ってくれる人がいない。自転車もない、バス停まで行けない。ごみ出しにも行けない。

本当の交通弱者は市に何人いるか。そこからは再出発かなと思う。次は「玄関先」までどうやって迎えに行くか。行政センターで各自の日程をつくり、週1、2回程度訪問する。移動する範囲は「地区内あるいは近隣」とするのはどうだろう。誰が？ボランティアの気持ちがあって安全運転する人がいいですね。ご意見あったらお願いします。